

# かもがわ社協だより



鴨川市社会福祉協議会  
イメージキャラクター  
『葉っぱー』

令和2年11月発行

社会福祉法人 鴨川市社会福祉協議会

〒296-0033 鴨川市八色 887-1 ふれあいセンター 2階  
TEL: 04-7093-0606 FAX: 04-7093-0623

【HP】 <http://www.kamoshakyo.or.jp>

【Facebook】 [facebook.com/kamosyakyo/](https://www.facebook.com/kamosyakyo/)

歳末たすけあい募金運動に  
ご協力をお願いいたします

「歳末たすけあい募金」は、新年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな福祉活動に役立てられます。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。お問合せ先：鴨川市社会福祉協議会（04-7093-0606）

## 「つながり」「ささえあい」の 大切さを学ぶ福祉授業

「いっしょに生きる」高れい者体けんをしよう  
田原小3年生

田原小学校3年生を対象に田原地区社協の協力のもと、高齢者疑似体験および車いす体験の福祉授業を実施しました。高齢者疑似体験セットを装着して、洗濯物を干したり、字の読み書き、ページをめくる、階段の昇降などの様々な日常生活の動作を体験。授業の最後には児童からのお礼として元気な歌と演奏の発表がありました。新型コロナウイルス感染予防として、こまめな消毒、軍手やマスクの着用など制限がある中での授業となりましたが、児童は真剣に取り組み、「こんなに大変なのかと思い、困っているお年寄りがいたらしっかり助けたい」「小さな段差に見えても車いすで降りるとガタンとなった。声かけが大切だと思った」など、体験を通して福祉を学ぶ機会になりました。

今後、安房東中や長狭学園、西条小等についても実施を予定しています。



## みんなで楽しめる『ボッチャ』体験

西条土曜スクール

西条土曜スクール1～6年生25人を対象に、当協議会と西条地区社協がサポートして、『ボッチャ』体験教室を行いました。『ボッチャ』とは、パラリンピックでも正式種目となっているスポーツ。投げることができない人も介助者に意思を伝えることで参加できます。チームごとにボールを6球ずつ投げて、目標となる白いボールに近づけることで競い合います。参加した児童からは「お年寄りも一緒にできるスポーツ。みんなでできて楽しかった」という声がありました。

## 「コロナ禍におけるサロン活動について」 サロン代表者会議を開催

22サロンが参加したサロン代表者会議。事前アンケートでは、30サロン中、活動再開が17、休止中が12、再開予定が1という状況でした。サロンを再開しているスタッフからは、「人との関わりの大切さを再認識した」「新型コロナウイルス感染症対策への負担と感染リスクへの不安がある」といった声が多く、休止中のサロンでは「参加者が高齢のため体調面が不安」「参加者の孤立、体力の衰えが心配」という声があがりました。サロンは、人とつながることであまれる「楽しみ・いきがい」「閉じこもり防止」「情報交換」の大切な場。形にこだわらずにつなげる方法をこれからも一緒に考えていきたいと思ひます。



## 令和3年度より 「田原・西条学童クラブ」の 運営をスタートします

当協議会では、放課後児童健全育成事業の鴨川学童「ゆう・遊クラブ」、江見学童クラブ、天津小湊学童クラブの運営を行っています。社会構造の変化の中、学童保育のニーズは増加傾向になっています。

学童保育の父母会からの要望に応え、「田原・西条学童クラブ」についても令和3年度からの運営をスタートするために現在準備をすすめています。



「かもがわ社協だより」は、共同募金の配分事業によって発行されています。